

京都醍醐寺

真言密教の宇宙

平安仏の最高峰

▼ 国宝 薬師如来および両脇侍像
平安時代 十世紀

京都市の南東に位置する醍醐寺は、千百年以上の歴史を持つ真言密教の名刹です。その歴史は、平安時代・貞観十六年(八七四)、理源大師聖宝(八三二〜九〇九)が醍醐味の水が湧き出るという笠取山に草庵を結んだことに始まります。開創以来、人々の願いをかなえる祈禱や修法といった実践を重視する寺として発展し、ごきの権力者たちの篤い信仰を集めてきました。こうした歴史を物語るように、醍醐寺には数多くの仏像や仏画、経典類が伝わっています。

本展では、密教美術の宝庫ともいえる醍醐寺から、薬師堂本尊である薬師如来および両脇侍像(国宝をはじめ国宝・重要文化財を多数含む珠玉の仏教美術をご紹介します。加えて、豊臣秀吉による「醍醐の花見」ゆかりの品々や、俵屋宗達らの華やかな近世美術も見どころです。密教美術の頂点ともいえる名品の数々を一堪能ください。

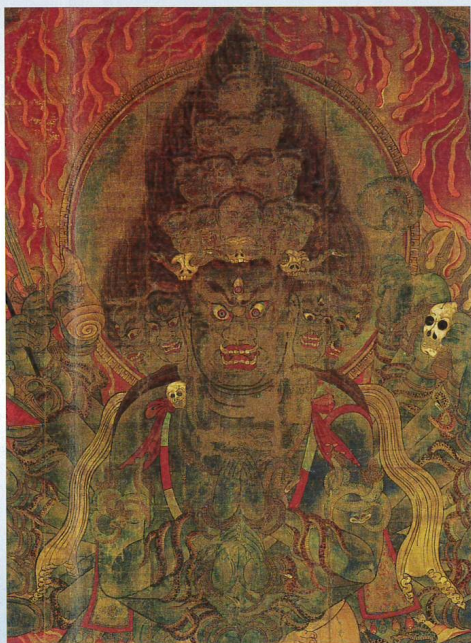
無敵の五人組

▼ 重要文化財 五大明王像 平安時代 十世紀



縦3.5メートル！規格外の迫力！

▼ 重要文化財 太元帥明王像(三十六臂) 太元帥法本尊像のうち(部分)
鎌倉時代 十四世紀 (展示期間2月26日〜3月24日)



密教修法の必須アイテム

▼ 重要文化財 金銅五結鈴 鎌倉時代 十三世紀



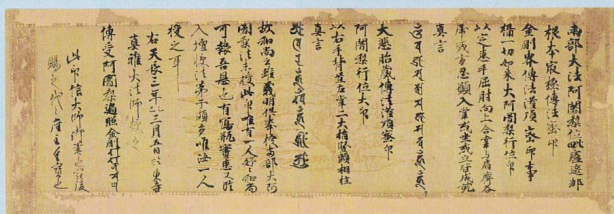
日本最古の絵巻物

▼ 国宝 絵因果経(部分) 奈良時代 八世紀 (期間中、巻替あり)



或馳火吼無有如是
等諸惡類形不可稱
數圍繞菩薩或復有
欲裂菩薩身或四方
烟起突爛衝天或狂
風奮發震動山谷風
火烟塵暗瓦所見四
大海水一時涌沸謀
法天人諸龍鬼神等悉
忿魔衆瞋恚增威毛
孔而流淨居天衆見
此惡魔慄亂菩薩以
慈悲心而墜傷之於
是來下開塞虛空見
魔軍衆元量元邊圍
繞菩薩裝大惡聲震
動天地菩薩心空願元
異相猶如獅子震於

後醍醐天皇、最晩年の筆跡



▼ 国宝 天長印信(部分)
後醍醐天皇筆
南北朝時代
延元四年(一三三九)
(展示期間1月29日〜2月17日)

まばゆく光る慈愛のほほえみ

▼ 重要文化財 如意輪観音坐像
平安時代 十世紀



国宝32件

重要文化財49件
貴重な寺宝を

一挙公開！

炎めらめら！みなぎる密教パワー

▼ 国宝 不動明王像(五大尊像のうち)
鎌倉時代 十二〜十三世紀 (展示期間1月29日〜2月24日)

